

事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項							2023 年度			
住 所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）			熊本県熊本市北区大窪1丁目6番1号							
氏 名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）			KMバイオロジクス株式会社 代表取締役 永里 敏秋							
事 業 概 要			製造業 化学工業							
該 当 す る 事 業 者 要 件			☒ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者（大規模エネルギー使用事業者） ☐ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者（自動車運送事業者） ☐ 特定事業者以外の事業者							
計 画 期 間			2022 年度 ～ 2024 年度							
事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況			・エネルギー使用状況の共有化を進めている。 ・定期的な清掃、メンテナンスを実施している。 ・空調機の温度設定を適正に行うようにしている。							
温室効果ガスの排出の状況等	温室効果ガス算定排出量等	年度区分	基準年度 (2021)年度	前年度 ()年度	計 画 期 間					目 標 年 度 (2024)年度
		①排出量 t-CO2	48,012		(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度	
		増 減 率 (基 準 年 度 比)			△ 9.8 %	4.3 %	%	%	%	3.5 %
		補完的手段による削減量	森 林 の 整 備 及 び 保 全 (t-CO2)							
			再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー を 利 用 し た 電 力 又 は 熱 の 供 給 (t-CO2)							
			グ リ ー ン 電 力 証 書 又 は グ リ ー ン 熱 証 書 の 購 入 (t-CO2)							
			そ の 他 知 事 が 認 め る も の (t-CO2)	1,593	3,810					
		②合計(t-CO2)			1,593	3,810				
		① - ② 差 引 後 排 出 量 (t-CO2)			41,711	46,257				
		差 引 後 増 減 率 (基 準 年 度 比)			△ 13.1 %	△ 3.7 %	%	%	%	
	原単位算定排出量等	排 出 量 t-CO2	0.192		0.173	0.203				0.198
		増 減 率 (基 準 年 度 比)		△ 9.9 %	5.7 %	%	%	%	3.1 %	
		差 引 後 排 出 量 (t-CO2)		0.164	0.188					
		差 引 後 増 減 率 (基 準 年 度 比)		△ 14.6 %	△ 2.1 %	%	%	%		
		原 単 位 の 考 え 方		(温室効果ガス排出量)/(全事業所の総延床面積)						
計 画 の 進 捗 又 は 達 成 の 状 況 等			おおむね計画どおり(2023年度は2022年度よりエネルギー使用量は削減しているが電気事業者の排出係数が上がったため排出量は増加した)							
特 記 事 項			・購入電力のうち再エネメニューの購入分を補完的手段による削減量欄に記入した (2022年度も再エネメニュー購入があったため、さかのぼって報告) ・菊池研究所において太陽光発電設備を導入し、2024年2月から稼働開始した ・菊池研究所においてボイラーおよび焼却炉の燃料をA重油から都市ガスに変更した ・阿蘇事業所においてボイラー燃料をA重油からLPGに変更した ・熊本事業所(R棟)において照明のLED化を実施							

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。

3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。

4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。